

## 修士論文要旨

研究テーマ：脳卒中患者における呼吸筋力と体幹機能・上肢機能の関係性について

学籍番号 1 8 7 0 0 5 4

氏 名 水 端 大 貴

研究指導教員 安 倍 基 幸

### 概 要

#### 目的：

先行研究では、脳卒中患者における呼吸筋力と体幹機能の関係性が報告されている。しかし、回復期における経時的変化により、呼吸筋力が体幹機能や上肢筋力、上肢機能に与える影響は明らかになっていない。そこで本研究では、脳卒中患者の呼吸筋力と体幹機能、上肢筋力、上肢機能の関係性を縦断的に調査することを目的とした。

#### 方法：

回復期リハビリテーション病棟に入院した脳卒中患者 25 名、およびコントロール群として、性、年齢、体格をマッチングさせた地域在住高齢者 25 名を対象とした。測定項目は MIP と MEP、TIS、両側の三角筋筋力、握力、MFT、mFIM とし、それぞれ入院時、1 ヶ月後、2 ヶ月後に評価を行った。

#### 結果：

脳卒中発症後  $31.9 \pm 17.6$  日における脳卒中患者の MIP、MEP および非麻痺側上肢筋力は、健常高齢者と比較し有意に低い値を示した。縦断的に計測した 20 名の対象者では MIP、MEP、TIS は入院時と比較し 1 ヶ月後、2 ヶ月後に有意な向上を認めた。しかし、MIP、MEP と TIS の間に有意な相関は認めなかった。非麻痺側三角筋筋力、非麻痺側握力、非麻痺側 MFT は入院時と比較し、2 ヶ月後に有意な向上を認め、MIP、MEP との間に有意な正の相関を認めた。

#### 結論：

本研究では呼吸筋力と体幹機能の相関を認めなかった。脳卒中患者の呼吸筋力および非麻痺側上肢筋力は、健常高齢者と比較し有意に低下していた。また、脳卒中患者の呼吸筋力、TIS、非麻痺側上肢筋力はリハビリテーション介入によって縦断的に改善し、呼吸筋力は非麻痺側上肢筋力と関係することが示唆された。今後、脳卒中リハビリテーションに係る専門職種は非麻痺側上肢筋力に影響

響を与える因子として呼吸筋力に注視すべきである.